

1、全体

小金井橋に立ってまず驚いたのは小金井橋より上流の水が見えないほどに雑木と下草が伸び放題にのびていたことだ。それに反して右岸(南岸)緑道は美しく草刈りがなされ爽やかであった。貫井橋を過ぎた所で緑道を整備中の業者の方と出会う。感謝の意を伝えて進む。7月に毎木の樹勢調査を行うので、本日は番号札の欠落がないかを調べて欠落していれば取り急ぎ応急措置で手製の番号札を作ろうと思う。



美しく整備された右岸緑道 ↑

↓ これから整備される右岸緑道



柵内は下草が伸び放題でノカンゾウが咲き始めていたが下草の勢いに押されて今年は花が少なく感じる。下草狩りの時期を見極めるのは本当に難しい。



小金井橋より上水を見る

貫井橋より上水を見る



2、桜樹

桜樹は梢の枯れの目立つものが見られたり、キノコが着いたりといろいろあるが、樹勢調査まで置いておく。番号札は 880・884・910・942・952・215・222・237・239・271-1・272・274 の 12 本が欠落していた。222・239・274 は手製札をつけていたが番号のインクが日に焼けて薄くなったので付け替えが要となったもの。

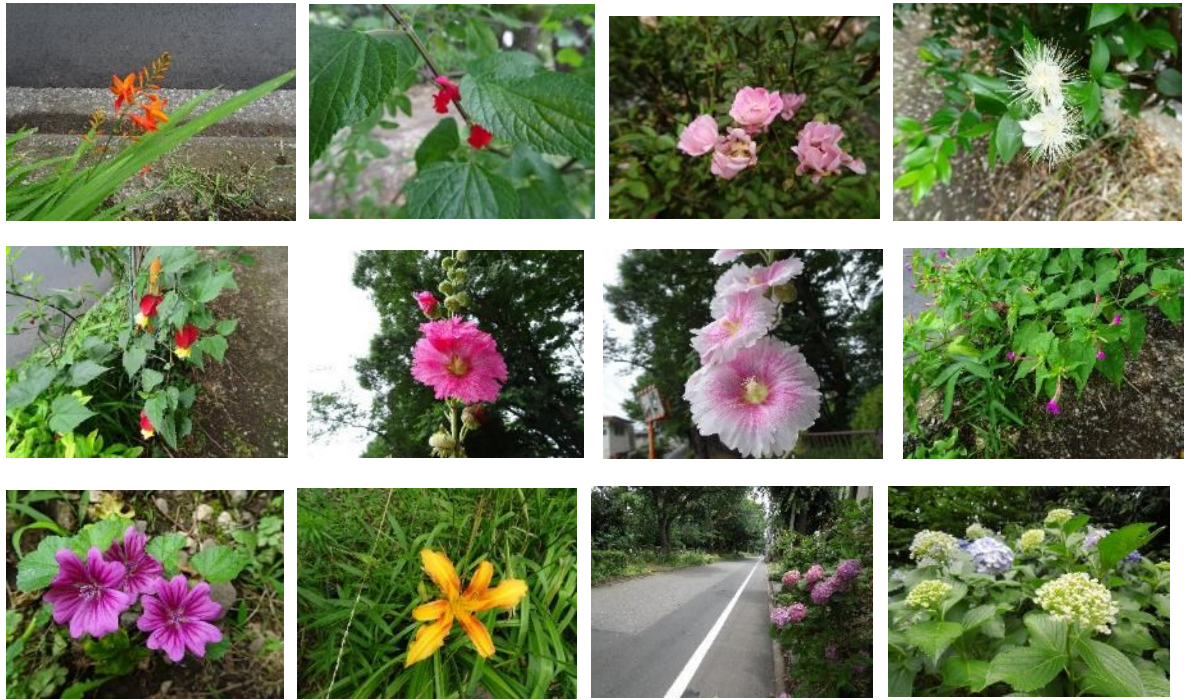
以下は柵内の若木の周りの状態



3、緑道
(柵内)



3、緑道
(柵外)



左岸



